

21世紀COE「京都大学化学連携研究拠点」外国人講演会 開催報告書

(化学研究所) 時任宣博、川端猛夫、小澤文幸、中村正治、村田靖次郎

研究集会名： 化学研究所 有機化学セミナー

演者： Professor Josef Michl

University of Colorado at Boulder

場所・日程： 京都大学化学研究所・2006年5月29日(月)

主な参加者： 時任宣博、中村正治、村田靖次郎

総参加者概数： 約40名

講演内容：

Josef Michl 教授はケイ素化学・理論化学・機能材料科学・物理有機化学等の非常に幅広い分野で著名である。最近、オリゴシランの σ 共役に関する光学的・理論的研究、ならびに太陽電池や分子機械に関する新しい研究を展開している。今回は、カルボランの化学について、特にパーメチル体アニオンの合成ならびにラジカルへの変換についての最近の研究成果が紹介された。さらにカルボランを利用したイリドの発生やリチウムを対カチオンとするカルボランアニオンを用いたエチレンの重合に関する成果も紹介され、講演後には、出席者との間で活発な議論が行われた。

公演中の様子

